

準備会への負担金支出と今後の資金管理について

市から協働推進会議準備会への運営に対する負担金を適正に管理するため、以下のように取り扱いたいと思います。

- 1 協働推進会議準備会事務局名で預金口座を新規に開設する。
- 2 別添予算素案を一つの例として、協働推進会議準備会にて、協働推進会議準備会事務局の平成 14 年度予算の承認をいただく。
- 3 口座の名義は「協働推進会議準備会事務局 市民活動課長 清水和男」とし、印は「清水」の印を使用する。
- 4 平成 15 年度に入り、協働推進会議の発足後は、それまでの口座を解約し、新規に作成された会計担当の口座へ預金を振り替える（協定の締結により、資金管理に関する役割分担を明確化する）。
- 5 準備会事務局の会計については、支出の都度市民活動課ウェブサイト、協働ルールメーリングリスト、どこでもコミュニティ会議室において使用目的、金額、購入物品などを即時に公開する。
- 6 市民から問い合わせがあった場合は、個別の支出及び全体の収支について、領収書の写しや預金通帳の写しなど、必要な帳票類を公開する。

その他

今年度と来年度では、委員謝礼などの支出の方法が変更になります。

	全体会謝礼	作業部会謝礼
平成 14 年度	市の予算から直接支払い	学識経験者委員は、 市の予算から直接支払い その他の委員は、準備会の予算から支払い（予定）
平成 15 年度 （予定）	学識経験者委員、公募等委員ともに 準備会の予算から支払い	

なお、別添予算案の積算の根拠は、以下のとおりです。

3 事務局ボランティア経費

事務局ボランティア（6名）の活動の度合いに応じて、経費を負担する。

例・自分の特技や資格を活かすなどの積極的な関わり方...6,000円

複数回会議・ワークショップに出席している...3,000円

ほとんど会議・ワークショップに参加していない...1,500円

4 協働推進会議準備会委員経費

学経委員以外の委員には作業部会出席の際の経費の支払いがないため、準備会事務局の予算から交通費程度の経費の支給を行う。16名×3,000円を予定している。なお、協働ルール検討会議の作業部会は12回開催され、学経委員以外の委員には前後半の2回に分けて3,000円ずつが市の予算から支出された。

5 広報・調査経費

インターネットで資料を探したり、広報活動に関わっていただいた事務局ボランティアの方に対し、必要な経費を負担する。

6 研修費

先進市などへ視察に行った際の旅費で、委員18名と事務局ボランティア6名の24名×1,500円で試算している。

7 参考図書等資料

委員18名と事務局ボランティア6名の24名×2,000円で試算している。